

科目名	簿記基礎／簿記特論I	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	山下 功		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-1-470016	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	簿記は、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。 「日商簿記検定」は日本で最も普及した会計系資格試験です。この授業を履修することによって、日商簿記検定3級に合格可能な知識を修得することを目標とします。				
学修到達目標	初めて簿記を学習する者が、日商簿記検定3級に合格可能な知識を修得できる。				
実務経験との関連性	上場企業で経理業務・会計情報システム構築などに従事した教員が、実務経験を基に商業簿記の講義を行っています。				

授業計画	
第1回	【第1～15回で、具体的内容や順序・回数が若干変更される場合があります。】 簿記とは、財務諸表(貸借対照表と損益計算書)(1)
第2回	財務諸表(貸借対照表と損益計算書)(2)
第3回	簿記の全体像

第4回	基本的な取引と勘定科目
第5回	商品売買
第6回	現金預金、固定資産に関連した取引
第7回	資金の賃貸借、給料に関連した取引、その他の取引
第8回	前半のまとめ
第9回	帳簿と伝票
第10回	決算(1)
第11回	決算(2)
第12回	決算(3)
第13回	決算(4)

第14回	証憑と試算表
第15回	後半のまとめ
第16回	期末定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	教科書を事前に読み、予習ノートに記入します。 また、必要に応じて https://cpa-learning.com/ の動画を視聴します。 90分の授業1回当たり、予習と復習を合わせて180分が必要です。
【復習】時間・内容	復習テストを自己採点し、不正解の問題を解き直します。また、必要に応じて教科書を読み直します。 そして『CPA 会計学院 日商簿記3級 基本問題集』を解きます。 90分の授業1回当たり、予習と復習を合わせて180分が必要です。

成績評価	
評価基準・方法	期末定期試験90%、授業中などに実施する復習テスト10%で評価します。
フィードバック方法	復習テストの模範解答を示します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	反転学習
教科書/参考書	<p>教科書として、CPA会計学院編著(2020)『いちばんわかる 日商簿記3級の教科書』サンクチュアリ出版、ISBN:9784801493667.を使用します。https://cpa-learning.com/ で無料登録(氏名とメールアドレスを入力)をしてダウンロードしてください。ダウンロードしたPDF(無料)の使用を推奨しますが、紙の本(1,210円)を欲しい場合は市中の書店で購入してください。大学の教科書販売では扱いません。</p> <p>予習教材として、拙著『簿記基礎 予習ノート』を使用します。各自でポータルからダウンロードしてください。復習教材として、『CPA 会計学院 日商簿記3級 基本問題集』を使用します。教科書と同じ手順でダウンロードしてください。</p>
受講上の留意点等	この授業では、予習及び復習が充分になされていることを前提としています。日商簿記検定で使用可能な電卓を持参してください。
JABEE	